

議会議案第10号

台湾（中華民国）の国際民間航空機関（ICAO）など国際機関・国際連携への正式加盟・参加について支援を求める意見書の提出について

台湾（中華民国）の国際民間航空機関（ICAO）など国際機関・国際連携への正式加盟・参加について支援を求めることに関し、次のとおり意見書を提出する。

平成28年9月13日提出

提出者	鎌倉市議会議員	岡	田	和	則
同	同	上	長	嶋	竜 弘
同	同	上	渡	邊	昌一郎
同	同	上	上	畠	寛 弘
同	同	上	松	中	健 治

## 台湾（中華民国）の国際民間航空機関（ICAO）など国際機関・国際連携への正式加盟・参加について支援を求める意見書

今月下旬よりカナダ・モントリオールで国際民間航空機関（以下、「ICAO」）総会が開催される。ICAOは国際民間航空が安全にかつ整然と発達するように、また、国際航空運送業務が機会均等主義に基づいて健全かつ経済的に運用されるよう、各国の協力を図ることを目的とし設立され、この目的達成のため、ICAOは国際航空運送業務やハイジャック対策を初めとするテロ対策等のための条約の作成、国際航空運送に関する国際基準、勧告、ガイドラインの作成等を行い、国際社会において重大な使命を担っている。

このICAOには、前回の総会において台湾（中華民国）が特別ゲストとして招致を受けて、初めて参加し、各国が歓迎した。台湾の台北飛行情報区空域の広さは18万平方キロメートルに及び、国際線14路線、国内線4路線をカバーし、我が国の福岡飛行情報区とも隣接している。台北飛行情報区が公表したデータによると総発着回数は153万回を超え、台湾を往復または経由した旅客数は5,800万人に達し、特別ゲストという立場とはいえ、台湾の代表がICAO総会に参加したことは、大変意義深いものであった。

また、日本と台湾の相互往来は、540万人を突破し、今年の上半期もすでに300万人を超えており、台湾がICAO総会に継続的に参加することは国際航空運送業務の健全な発展と安定に貢献し、邦人往来数や貿易額を鑑みれば、我が国の国益にもつながるところだ。また、鎌倉市には台湾から多くの観光客が訪れており、本年は江ノ島電鉄と台湾平溪線との友好鉄道協定の締結によって、台湾の方々の鎌倉市への訪問を通じたまますの日台親善交流が期待され、日台両国を結ぶ国際線の安定は、鎌倉市議会としても強く望むものである。

しかしながら、ICAOには台湾は正式には加盟しておらず、総会参加については確約されたものではなく、不安定な情勢であるが、台湾の経済規模、各国との貿易額、人的往来数などを鑑みれば、ICAOはもちろんのこと、世界保健機関（WHO）、国際労働機関（ILO）、世界貿易機関（WTO）などの国際機関への正式加盟や、国連気候変動枠組条約や東アジア地域包括的経済連携（RCEP）などの国際連携への参

加は不可欠であり、台湾も加盟や参加を希望しており、国際社会の平和的な発展と安定を目指すためには台湾を決して孤立させるべきでない。日本政府は、さきの中華民国総統選挙の結果を受け、台湾について「我が国にとって、基本的な価値観を共有し、緊密な経済関係と人的往来を有する重要なパートナーである」との声明を出しており、実際に東日本大震災に際して、台湾より我が国は絶大な支援をいただいたところである。

よって、日本政府、国会を初めとする関係機関におかれては、国際社会の平和的な発展と安定と日台両国の友好発展のためにも台湾（中華民国）の I C A O などの国際機関への正式加盟、国際連携への参加について支援することを要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年9月14日

鎌倉市議会